



▲連日作業が行われている新作立山鉾の制作風景

「愛する酒田のためなら、私は何でもします」と、酒田への熱い思いを語る櫛引さん。酒田青年会議所の第48代理事長として、地域の若手経営者をまとめています。例年同会議所が企画運営を担当し、好評を博している酒田まつり宵祭り。

「今年の目玉は「舞いと踊り」。幅広い年代のダンサーが登場します」と櫛引さんが言うように、ベリダンズやキッズダンスなど、さまざまな種類の舞いと踊りが披露されます。

そしてもう一つの目玉は酒田まつりのシンボル、立て山鉾<sup>やまぼこ</sup>。

「前回立て山鉾を作ったのは5年前。その間多くの新しい仲間が会議所に入っています。自ら作っ

## 愛するまち、酒田のために

「愛する酒田のためなら、私は何でもします」と、酒田への熱い思いを語る櫛引さん。酒田青年会議所の第48代理事長として、地域の若手経営者をまとめています。

例年同会議所が企画運営を担当し、好評を博している酒田まつり宵祭り。

「今年

# さかたの 風

今月の人

Kushibiki Ryuichi

櫛引 柳一<sup>やなぎ</sup>さん(亀ヶ崎三丁目) 公益社団法人酒田青年会議所 第48代理事長



の方が、酒田まつりへの思いが強くなると思います。立て山鉾を一新します。新しい立て山鉾は、宵祭り会場の日和山公園でお披露目されます。また将来の酒田を担う世代に参画してもらうための取り組みとして、本祭り山車行列に酒田光陵高校の生徒約430人が参加し、酒田まつりを盛り上げます。

## 祭りで酒田を元気に

「人口減少は深刻な問題。減ってからはなく、将来を見据えて取り組まなければ」と、真剣な表情で語る櫛引さん。

「山王例大祭酒田まつりは、地域の活性化の起爆剤になると思います。新庄市などは、祭りを核として交流人口の拡大に成功しています。酒田でもそれができるはず。酒田のまちが、祭りが、500年、千年と続くためのロードマップを描き、会議所に残したいと思っています」と、ビジョンを語ってくれました。

「山王例大祭酒田まつりを世界にしたい。誇るべき歴史と伝統、文化がある酒田なら、きっとできると信じています」

風に乗って響く太鼓のように力強い櫛引さんの言葉。もうすぐ、酒田まつりです。

旬の食材を使った料理を酒田市食生活改善推進員が紹介します

## 酒田の旬 1 笹巻き

笹巻きは、七つ祝いの料理や端午の節句の際に食べられます。巻き方は三角巻き、三角錐巻き、竹の子巻きなどさまざまあります。この時季ならではの笹の香りをお楽しみください。



### 【作り方】

- ①もち米を洗い、一晩水につけておく。
- ②笹は熱湯にくぐらせてザルにあげ、水気を切る。イグサも洗って水につけ、ザルにあげておく。
- ③①のもち米をザルにあげ、水気を切る。
- ④笹の葉を三角の筒状にし、③のもち米を七分～八分目程度まで入れる。別の笹でふたをし、形を整えてからイグサでしっかりと結ぶ。この時、下からもち米がこぼれないように注意する。
- ⑤5個ずつまとめ、イグサの長い部分を結んでおく。
- ⑥鍋にたっぷりの水を入れ、⑤を入れる。水から1時間半～2時間程度ゆで、そのまま常温になるまで冷まし、ザルにあげて水気を切る(急いでいる時も、30分以上冷ます)。
- ⑦きな粉に砂糖、塩を混ぜ合わせておく。
- ⑧笹巻きに黒蜜をつけてから、⑦のきな粉をまぶす。

### 【材料】25個分

- ・もち米……………5合
- ・笹の葉(乾燥) ……50枚
- ・イグサ(乾燥) ……25本
- ・黒蜜……………適量
- ・きな粉……………100g<sup>ラ</sup>
- ・砂糖……………大さじ4
- ・塩……………少々

食生活改善推進員からのワンポイント

生の笹の葉で作る際は、よく洗ってからそのまま使用します。

東北公益文科大学

## キャンパスレポート 25

### 一流体験合宿に参加して

伊東 誓雅(4年)

3月に東京で一流体験合宿が行われました。この研修は一流と呼ばれる人・モノを自分の目で見て肌で感じ、成長しようというものです。

今回の研修では、一流と呼ばれる方々と自分との間に大きな差があることを痛感し、がくぜんとしました。私が特に強い印象を受けたのは、建築家の安藤忠雄さんの講演です。細かなことに気を遣い、講演される安藤さんの姿や「人を思いやる」という信念を有言実行しているのを目の当たりにし、とても感銘を受けました。今後、自分が成長していくには、今できることに集中し、考えるだけではなく行動を起こすことが大事だと感じました。

現在、就職活動中で将来について真剣に考えている中、今回の研修に参加できたことに心から感謝しています。



東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117



本社



常務取締役 本間 亮 さん

## おしごと拝見

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

vol. 13

**受注から施工までを一貫して提供**

当社は主に浄水・下水処理施設、ごみ焼却場といったプラント（大型産業設備）などの設計・製作・施工を行っています。酒田市終末処理場、県企業局平田浄水場の他、県内外60か所以及ぶ農業集落排水処理施設の機械設備を手掛けてきました。

砂越地区の3工場では、配管や水処理装置、焼却装置などを、鉄やステンレスを加工して部品レベルから製造しています。またメンテナンスや修理も行っており、震災被災地の施設復旧にも携わっています。

### 技術部門と管理部門の両輪で

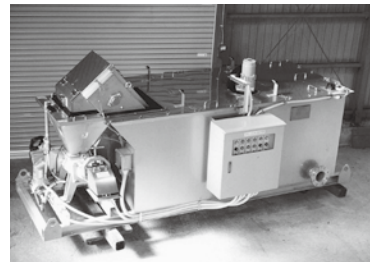
発注者や地域によって構造や基準が異なり、同じ設備はほとんどありません。お客さまの要望を伺って一品ずつ設計し、製作工程の多くを熟練技能者が手作業によって行います。施工の現場では、土木施工者や塗装工などさまざまな人が関わるため、各工程で厳密な作業が求められます。設計から施工までは、半年程かけて行われ、施工写真や取扱説明書・竣工図などの書類とともに納品します。納品後、お客さまが不便なく使用できるように、管理部門ではこうした書類も機械設備と同様に「商品」という認識を持って作成しています。

#### 【企業の概要】

沿革 昭和62年(有)メカニックとして設立、平成4年(株)メカニックとなる。平成8年メンテナンスの(株)庄内エコポリスを設立、平成24年設計の(株)アクアレストを仙台市に設立  
株式会社 メカニック  
資本金 2,000万円  
住所 酒田市砂越字中台70 ☎52-2417  
代表取締役 佐藤 優  
従業員数 29人  
事業内容 鉄骨造物・環境装置・各種プラントの設計製作、施工、管理、調査、分析、技術サービス  
ホームページ <http://www.mechanic.co.jp/>



大型集塵装置の施工風景



ステンレス製の除塵装置

下水処理場に納入します。製作から出荷まで細心の注意を払います。

## 酒田っ子 子育て講座 79

●お問い合わせ／市子育て支援課 ☎26-5753

### お手伝い

夕食とき、そろそろ食事の用意が整ったようです。家族みんなが席に着いたそのとき「お母さん！」「僕の箸ないよ！」とユーちゃんの声が上げました。でも仕事から帰って夕食の準備をしていたお母さんは大忙し。

こんなとき「お箸、並べてくれるかな」「ご飯をよそってくれる？」と年齢や力に応じた仕事を頼んでみましょう。子どもに手伝ってもらおうより、大人がやってしまったほうがずっと早いし、きれいです。でもお手伝いは、出来栄えの上手下手よりも、人のために働く気持ち良さを学ぶ貴重な機会です。

暮らしが便利になり、子どもたちにも手伝わってもらう仕事はあまりありません。でも労力提供としてではなく、家族の一員としての役割や、自分ができることを知って、

それを行うことによって味わう達成感、役に立った自分を価値ある人間だと思ふ気持ちを味わうことができます。

国立青少年教育振興機構の調査(2010(平成22)年)では、小中学生のころにお手伝いをした子には、成長するにつれ「ルールを守る」「人の気持ちを配慮する」「社会のために人の役に立つこと」を「したい」という好ましい姿勢が育つことが明らかにされました。

日頃中学・高校生や大学生と接していて、褒められた経験が乏しいのではないかと感じることはありません。お手伝いを本人の働きを認めるきっかけとして活用すれば、子どもは手伝いをしながら自然に自分の役割を自覚できるのでないでしょうか。

お手伝いを頼んだ後は「ありがとう」「助かった」をお忘れなく。